EFI EXPRESS 4.5 の補足ガイド

本書は、EFI eXpress 4.1 のリリースより後に実装された主な変更点について説明 します。ここでは、新規機能および改善機能について示し、さらに、ユーザ・ インターフェースで再編された設定の詳細についても解説します。

システム要件

EFI eXpress 4.5 では、次のオペレーティング・システムをサポートします。

Windows	Windows XP
	• Windows 2003 Server
	• Windows 2008 R2
	• Windows 7
Macintosh	・ Mac OS X 10.6、および 10.7

インストール

Unidriver は、フルインストールの一部としてデフォルトでインストールされるようになりました。Unidriver をインストールしない場合、カスタム・インストール を実行して当該のチェック・ボックスを選択解除することができます。必要に応じて、後で DVD から Unidriver をインストールすることができます。

```
カスタム・インストール
```

EFI eXpress - InstallShield Wizard 継節の確和 インストールする機能を選択		X
	インストールする機能を選択してください。インストールしない機能は、選 ✓ Cools ✓ Unidriver ● Ø Documentation and help ● Chinese (Simplified) ■ English ■ French ■ German ■ Dalian ■ Ø Japanese ■ Spanish · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	駅を解除してください。 説明 EFI eXpress の機能を増やす追加 のツールです。
	(K) 次へ (N)>	

コレクション

新しい設定または再編された設定

ー部のコレクション設定は、この最新バージョンの EFI eXpress で再編されました。次の表に、現在のコレクション設定が存在する場所を示します。

オプション	EFI eXpress 4.1	EFI eXpress 4.5
コレクションのリフレッシュ	「ファイル」メニュー	「コレクション」メ ニュー
コレクションにジョブを追加	「ファイル」メニュー	「編集」メニュー
ジョブをコレクションから削除	「ファイル」メニュー	「編集」メニュー
新規シート		「コレクション」メ ニュー
シートを削除		「コレクション」メ ニュー

新しい「コレクション」メニューには、以下のコマンドがあります。

新規シート	既存の「コレクション」に新規にシートを追加します。
シートを削除	既存の「コレクション」から新規のシートを削除します。
更新	コレクションのプレビューを更新します。

ジョブの方向

環境設定

これまで、明示的に「縦」または「横」を指定しなければ、コレクションに含ま れるページは自動的に回転され、そうすることでメディア消費量が低減していま した。EFI eXpress 4.5 では、新しい方向設定が追加されました。それは、ジョブの 回転を抑制し、すべてのページが元の方向で出力されるという設定です。

「コレクション」ペインのドロップダウン・メニューから「元の方向の維持」を 選択します。

X

「コレクション」ペイン

 一般 レイアウト カラー フリンタ 検証 ページレイアウト コレクション マーク フッター コレクション・プリセット プリセット: なし マー・+ ー・ コレクション・レイアウト 最適化: メディア消費量 マ 印刷の向き: 自動 「自動」 「自動」 「日朝の向き: 自動 「コレクション要素の変換 「アの方向の維持 「ブの方向の維持 「アの方向の維持 「アの方向の維持 「アの方向の維持 「「手動レイアウト」 「「手動レイアウト」 	
ページレイアウト コレクション マーク フッター コレクション・プリセット クリセット: スレ + - プリセット: なし ・ + - コレクション・レイアウト ・ + - 最適化: メディア消費量 ・ ・ ・ ・ 印刷(の向き: 自動 ・ ・ ・ ・ ご 自動 ・ ・ ・ ・ ご 1 レクション要素の変換 ・ ・ ・ (* ヴロボーショナルスケーが・ 回る ・ ・ ・ 「 1 ・ ・ ・ ・ (* グロボーショナルスケーが・ 回る ・ ・ (* パージ数ケート: 回る ・ ・ (* 手動レイアウト 回る ・ ・	
コレクション・ウイアウト 漫遊化: メディア消費量 印刷の向き: 自動 印刷の向き: 自動 「自動」 ・ ・ 自動 ・ ・	
プリセット: なし ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
コレクション・レイアウト 最適化: メディア消費量 印刷の向き: 自動 ・ 自動 ・ 自動 ・ 自動 ・ 自動 ・ 自動 ・ ののの向差: ・ のののの差 ・ のつれーショナルスク ・ かっかのの差 ・ のつれーショナルスク ・ かっかのの差 ・ のつれーショナルスク ・ すっての一のがあ ・ のののの差 ・ ののののが ・ のののの ・ のののの ・ ののの ・ のののの ・ ののの ・ ののの ・ ののの ・ ののの ・ ののの ・ ののの ・ のののの ・ ののの ・ の	
最適化: メディア消費量 ▼ 印刷の向き: 自動 ▼ ⑥ 自動しイアウト 日勤 ⑦ 自動しイアウト 日勤 ⑦ コレクション要素の変 技 ⑦ プロボーショナルスケ ⑦ 「前のへ組)なら 「」 「」 ◎ プロボーショナルスケ ⑦ 「前のへ組)なら 「」 「」 「」 ◎ プロボーショナルスケ ⑦ 「前のへ組」 「」 「」 「」 ○ パージ数/シート: 36 二 ⑦ 手動レイアウト	
印刷の向き: 自動 ・ 自動レイアウト ・ 自動レイアウト ・ ロレクション要素の変 使 ・ プロボーショナルスケール・ 一般の(細目)なの ・ 「「「」レクション要素の変 使 ・ プロボーショナルスケール・ 「」」 ・ 」 ・ 」 ・ 」 ・ 幅x高さ: mm ・ ページ数/シート: 36 mm ・ 手動レイアウト	
幅√高さ: mm C ページ数/シート: 36 C 手動レイアウト	
← 手動レイアウト	
プレビューでマウスの右ボタンのメニューを使用するか、「編集」メニ ューを使用してページを複製したり、サイズとレイアウトを変更しま す。プラス(4)ボタンをクリックし、このレイアウトをプリセットとして保 存します。	
スペース	
+ 0.00 € + 0.00 € mm	

ジョブの複製

複製機能が拡張されました。以前のバージョンの EFI eXpress では、一度に1つの イメージのコピーしか作成することができませんでした。現在、作成する複製の 数を指定できるようになっています。「複製」コマンドを選択すると、次のダイ アログが開きます。

「複製イメージ」ダイアログ

複製イメージ 🔀	1
複製の数:	
イメージを複製 キャンセル	
イメージを複製 キャンセル	

必要な複製数を入力して「イメージを複製」をクリックします。個々の複製の拡 大縮小など、特定のジョブの設定を実行できます。設定を行った後、プレビュー を更新してコレクションのページを再配置します。ただし、個々の複製にカラー 調整を行うことはできません。

イメージにコントロール・ストリップが割り当てられている場合、それもイメージとともに複製されます。ただし、一回だけ測定する必要があります。コントロール・ストリップを測定すると、その結果は自動的にすべての複製に転送されます。

名前の変更

新しいコレクションが作成される際は常に「Collection」の後に連番の番号が付加された名前が付けられます。デフォルトの名前を上書きするには:

- ジョブ・リスト内のコレクションを右クリックし、コンテキスト・メニュー から「名前の変更」を選択して、編集ボックスで一意の名前を定義します。
- ジョブ・リスト内の選択したコレクションをダブルクリックして、編集ボックスで一意の名前を定義します。

コントロール・ストリップ

コントロール・ストリップは、「検証」タブに配置されるようになりました。

「コントロール・ストリップ」 ペイン

	th.	0			
一般	レイアウト	カラー	プリンタ	検証	
測定テハイス ユ	フトロール・ストリップ	וי=חאכבן י	パストリッフ 2		
コントロール・ス	トリップ設定				_
コントロール・スト	<u>リップ 1 () () () () () () () () () () () () () </u>				
Ugra Fogra-Me	ediaWedge V3.0a (ES 1000_Eye-(Dne).tif		
▶ カラーマネージ	ッメントを適用して日	」刷			
コントロールストリ	ゆうの適用先				
	0 y=r				
			-		_
キャラクタリゼーシ	/ヨン・データ:		デルタモフォ	·	
参照ブロファイル	から生成	•	dE CIE76	•	
ブリセット:				1	
ISO 12647-7 C	Contract Proof "N	Media Wedge <mark>.</mark> ▼	+ -]	
基準			許容範囲	使用	
基準 一般的なdE			許容範囲	使用	
基準 一般的なdE 全パッチの平均	勾值		許容範囲 3.00	使用 規定	
基準 一般的なdE 全パッチの平均 全パッチの最大	均值		許容範囲 3.00 6.00	使用 規定 規定	
基準 一般的なdE 全パッチの平均 全パッチの最大 用紙の白色部	句値 < 《分		許容範囲 3.00 6.00 3.00	使用 規定 規定 規定	
基準 一般的なdE 全パッチの中地 全パッチの最声 用紙の白色部 1.249.045	5値 5値 3分		許容範囲 3.00 6.00 3.00	使用 規定 規定 規定	
基準 一般的なdE 全パッチのF対 全パッチの最大 用紙の白色部 1次色のdE シアン	9値 5値 3分		許容範囲 3.00 6.00 3.00	使用 規定 規定 規定 規定	
	り値 て値 3分		許容範囲 3.00 6.00 3.00 5.00 5.00	使用 規定 規定 規定 規定 規定	
	5)値 (1値 3分		許容範囲 3.00 6.00 3.00 	使用 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定	
基準 一般的なdE 全パッチの最大 用紙の白色部 1次色のdE シアン マゼンタ イエロー ブラック	5値 5分		許容範囲 3.00 6.00 3.00 5.00 5.00 5.00 5.00	使用 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定	
	5/値 5/値 8分 平均値		許容範囲 3.00 6.00 3.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00	使用 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定	
	5/値 5/値 3/分 平均値		許容範囲 3.00 6.00 3.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00	使用 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定	
基準 一般的なdE 全パッチの円状 全パッチの円状 全パッチの日本 日本 コンクの日本 シアン マゼンタ イエロー ブラック CMYK パッチの CMYK パッチの CMYK パッチの	50値 大値 53分 平均値 聚度 長本値		許容範囲 3.00 6.00 3.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 2.50	使用 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定	
基準 一般的なdE 全パッチの円状 全パッチの円状 全パッチの日本 シパッチの最大 用紙の白色部 シアン マゼンタ イエロー ブラック CMYK パッチの CMYK パッチの や子の ●相の許容問 CMYK パッチの	5/値 大値 5/分 平均値 限度 長大値		許容範囲 3.00 6.00 3.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 2.50	使用 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定	
	5位 大値 5分 平均値 最大値 示		許容範囲 3.00 6.00 3.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 2.50	使用 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定	
	的值 大值 多分 平均值 最大值 示 保存…	<u>□-</u> ド	許容範囲 3.00 6.00 3.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 2.50	使用 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定	

この最新バージョンのプログラムでは、2つのコントロール・ストリップを使用 することができます。そのため、コレクションで作業する際に、柔軟性が高まり ます。

• コントロール・ストリップ

ドロップダウン・メニューからコントロール・ストリップを選択します。



ドロップダウン・メニューには、選択された測定デバイス用のコントロール・ ストリップのみが表示されます。デフォルトの測定デバイスは、ES-1000 で す。異なる測定デバイスを使用している場合、まず「環境設定」ダイアログの 「検証」タブの「測定デバイス」ペインでそれを選択する必要があります。

• カラー・マネージメントを適用して印刷

コントロール・ストリップにカラー・マネージメントを適用しない場合は、 チェック・ボックスの選択を解除してください。 • コントロール・ストリップの適用先

単一のジョブにコントロール・ストリップを出力するには、「ページ」を選択 してください。コレクションにコントロール・ストリップを出力するには、 「シート」を選択してください。コレクションで2つのコントロール・スト リップの使用方法を組み合わせて、一方は各コレクション内のジョブ(ペー ジ)、他方は全体としてのコレクション(シート)に出力することができます。

複数ページのジョブの場合、コントロール・ストリップはすべてのページに 適用されます。それぞれのページに異なるコントロール・ストリップを選択す ることはできません。





コントロール・ストリップ 1 コレクションに含まれる ページ

2 コレクション・シート

Color Verifier ウィザード

EFI eXpress 4.5 の新機能に、ジョブのカラーの一貫性を検証するための特別な ツールがあります。

Color Verifier ウィザードには、個別のライセンスが必要です。EFI eXpress ライセン スがインストールされていない場合、「環境設定」ダイアログの「一般」ペインで 製品のタイプに「EFI eXpress for Proofing」を選択できます。これにより、以降の セクションで説明されている機能が使用できるようになります。ただし、出力に は demo というスタンプが表示されます。出力からデモ・スタンプを削除するに は、EFI eXpress for Advanced Proofing のライセンスを購入して、Color Verifier ウィ ザードを引き続き使用できるようにする必要があります。

検証ワークフローの役割

「許容範囲」の値により、リファレンスに対する出力の色精度を検証する際の最 大許容誤差を定義します。例えば、平均デルタ Eの値が3に定義されているとき に、デルタ E測定値が2.5であった場合、色精度として受け入れられ、「合格」 の結果が生成されます。一方、デルタ E測定値が3.2の場合は「不合格」の結果 が生成されます。

「検証」設定は、「検証」タブにあります。ここで、測定デバイスを選択し、許容 値を定義します。

采现武正					×	壞境談定
	H.	0				
一般	レイアウト	カラー	プリンタ	検証		一般レ
測定デバイス コン	ホロール・ストリッコ	¢ 1 בי∕רם−ו	レストリップ 2		-	測定デバイス コントローノ
測定デバイス認	定					コントロール・ストリップ
デバイス:						コントロール・ストリップ 1
EFI ES-1000		*				Ugra Fogra-MediaWed
□ システムのスヒ	ピーカーをビープ音	に使用する				▶ カラーマネージメントを
		(1)				コントロールストリップの違
		0				• ペ-ジ C
						☑ 検証
						キャラクタリゼーション・デ
						参照プロファイルから生ん
						プリセット:
						基準
						一般的なdE
						全パッチの平均値
						全パッチの最大値
						用紙の目色部分
						1次色のdE
						シアン
						マゼンタ
						_1ID-
						ブラック
						CMYK パッチの平均値
						色相の許容限度
						CMYK パッチの最大値
	_					
▼ オプションの表示	-					■ オリンヨノの表示。

	Lth	0		
一般	レイアウト	カラー	プリンタ	検証
ミデバイス エン	ホロール・ストリップ	⁹ 1 コントロール	・ストリップ2	
ントロール・スト	・リップ設定			
ホロール・ストリ	ルプ 1			
sra Fogra-Me	diaWedge V3.0a (ES 1000_Eye-C	ne).tif 💌	
カラーマネージ	メントを適用して自	唰		
ットロールストリ	ップの適用先	(2)		
ページ	ロシート			
検証				
	かん データ・		デルタモニ	1+-7ak
<u>ee 70 774 70</u>	叩り土成			
Head a				
Hzyh:				_
ルセット: O 12647-7 C	ontract Proof "I	Vledia Wedge 💌	+ -	
Hzット: O 12647-7 C	ontract Proof "I	Vledia Wedge 💌	+	
ルセット: O 12647-7 C 基準	ontract Proof "I	Media Wedge ▼	+ -	使用
ルセット: O 12647-7 C 基準 一般的なdE	iontract Proof "I	Media Wedge 💌	+	使用
レセット: O 12647-7 C 基準 一般的なdE 全パッチの平均	iontract Proof ") 値	Media Wedge 💌	+ 許容範囲 3.00	使用 規定
地ット: 0 12647-7 C 基準 一般的なdE 全パッチの平均 全パッチの最大	iontract Proof ") 他	Vledia Wedge 💌	+ 許容範囲 3.00 6.00	使用 規定 規定
地ット: O 12647-7 C 基準 一般的なdE 全パッチの平均 全パッチの最大 用紙の白色部	iontract Proof " f 值 分	Vledia Wedge 💌	+ 許容範囲 3.00 6.00 3.00	使用 規定 規定 規定
 ビット: 0 12647-7 C 基準 一般的なdE 全パッチの平均 全パッチの平均 全パッチの母声 用紙の白色部 1次先のdE 	iontract Proof ") 値 値 分	Media Wedge 💌	+	使用 規定 規定 規定
¹ セット: 0 12647-7 C 基準 → 設約なdE 全パッチの平均 全パッチの最大 用紙の白色部 1次色のdE シアン	iontract Proof ") 値 値 分	Media Wedge ▼	+ 許容範囲 3.00 6.00 3.00 5.00	使用 規定 規定 規定 規定
地ット: 0 12647-7 C 基準 一般的なdE 全パッチの果共 全パッチの最大 用紙の白色部 1次色のdE シアン マセンタ	iontract Proof ") 値 値	Media Wedge 💌	+ - - - - - - - - - - - - -	使用 規規定定 規規定 規規定 規規定
 セット: 0 12647-7 C 基準 一般的なdE 全パッチの果ち 全パッチの最大 用紙の白色部 1次色のdE シアン マピンタ イエロー 	iontract Proof "1 値 値 分	Media Wedge 💌	+ - - - - - - - - - - - - -	使用 規規規定 規規規定 規規規定 定 定 定 定
レセット: 0 12647-7 C 基準 一般的なdE 全パッチの母太 用紙の白色部 1次色のdE シアン マゼンタ イエロー ブラック	iontract Proof "1 値 値	Media Wedge 💌	+ 許容範囲 3.00 6.00 3.00 5.00 5.00 5.00 5.00	使用 規規定 規規定 規規定 規規定 定定 定定 定定
化セット: 0 12647-7 C 基準 - ・ 数約なde 全パッチの平均 全パッチの中均 全パッチの目 数 の白色部 1次色のde ジアン マゼンタ イエロー ブラック CMYKパッチの ²	iontract Proof "1 i值 位 分 开均值	Media Wedge 💌	+ 子容範囲 3.00 6.00 3.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00	使用 規規定 定定 定定 定定 定定 定定 定定 定 定 定
 とット: 0 12647-7 C 基準 一般的なdE 全パッチマル炎 全パッチの最大 用紙の白色部 1次色のdE シアン マゼンタ イエロー ブラック CMYK パッチの² 	iontract Proof "I 値 値 分 干均値	Media Wedge 💌	+ 	使用 規定 規定 規定 規定 定 定 定 定 定 定 定 規規 定 定 定 規規 定 定 規規 定 定 規規 定
 地ット: 0 12647-7 C 基準 ・ 安的なdE 全パッチの平均、 全パッチの最大 中、安的なdE シアンの中均、 マセンタ イエロー ブラック CMWK パッチの5 	iontract Proof ⁷ 1 值 值 分 开均值 &度	Media Wedge ▼	+ 子容範囲 3.00 6.00 3.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00	使 規規定 定定 定定 定定 定定 定定 定定 定定 定 定 定
地ット: 2012647-7 C 基準	iontract Proof " f 值 值 分 干均值 又度 長大值	Media Wedge ▼	+ 3.00 6.00 3.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00 5.00	使用 規規定定 規規規定定 規規規規定定 規規規定定 規規定定 規規定定
地ット: 2012647-7 C 基準 一般的なは 全パッチの平均 全パッチの平均 全パッチの平均 全パッチの県大 用紙の白色部 フアン マゼンタ イエロー ブラック CMTK パッチの クリアン マゼンタ イエロー ブラック CMTK パッチの デック マーパッチの一般の許容別 CMTK パッチの デッタ マーパッチック デッタ マーパッチック デッタ	iontract Proof ^{(*}) 值 值 值 分 分 平均值 3 度 表 元	Media Wedge ▼	+	使用 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定 規定

「検証」タブ

- 1 「測定デバイス」ペイン (「環境設定」ダイアログ のみ)
- 2 「コントロール・ストリッ プ 1/2」ペイン

検証ワークフローを設定するには

この手順では、検証ワークフローの設定に必要な手順について説明します。ただし、個々の設定については説明しません。個々の設定の詳細については、9頁の「必要に応じた設定」を参照してください。

- 1「環境設定」ダイアログの「検証」タブを開きます。
- 2 「測定デバイス」ペインで、測定デバイスを選択します。



この設定は、フィルタの働きをしています。選択された測定デバイスで使用できるコントロール・ストリップおよびメディア・ウェッジのみが表示されます。デフォルトの測定デバイスは、ES-1000です。

- 3「コントロール・ストリップ」ペインで、次の処理を実行します。
 - カラーの一貫性のチェックに使用するコントロール・ストリップまたはメ ディア・ウェッジを選択します。
 - 「検証」チェック・ボックスを選択します。
 - 「環境設定」ダイアログでこの設定を行うと、すべてのジョブが「検証」ジョ ブとして扱われることになります。すべてのジョブの色精度を検証する必要は ない場合は、このチェック・ボックスを未選択のままにします。EFI eXpress に ロードされた個々のジョブを検証するには、「プロパティ・インスペクタ」の 「検証」チェック・ボックスを選択します。
 - 「キャラクタリゼーション・データ」ドロップダウン・メニューから、ター ゲット・カラー値を表すリファレンスを選択します。
 - 「dE フォーマット」メニューから、デルタ E の計算方法を選択します。
 「dE CIE 76」、「dE 94」、「dE 2000 or dE CMC」から選択します。
 - 「プリセット」ドロップダウン・メニューから、許容範囲を指定します。
 - 必要に応じて、「検証後に自動的にラベルを印刷」を選択します。

この設定は、測定デバイスが統合されたプリンタのみで提供されています。ラ ベルには、ISO 12647-7/8 仕様に準拠した必要な情報がすべて含まれています。 このオプションを選択すると、比較結果の内容にかかわらず常に印刷するよ うに設定することができます。一方、すべての測定結果が定義した許容範囲内 である場合にのみラベルを印刷するように設定するには、「検証結果が合格し た場合にのみ印刷」チェック・ボックスを選択します。



Fogra Proof Certification の認証を取得するために、あるいは ISO 12647-7 仕様に準拠したプルーフを作成するには、「フッター」ペインでジョブ・チケットを選択する必要があります。ジョブ・チケットには、次の情報が含まれている必要があります。

- プルーフィングに使用したソフトウェア名
- 着色剤
- 印刷メディアの種類
- シミュレートする印刷環境

- 使用したカラープロファイル
- 出力日時

この目的のために、ジョブ・チケット「ISO compliant (12647-7/8)」が提供されています。

必要に応じた設定

コントロール・ストリップ

最終的な目的に応じて、コントロール・ストリップを選択します。Color Verifier オプションを使用して、次の処理を実行できます。

- Fogra Proof Certification 認証の取得
- ISO 12647-7 に準拠したプルーフの作成
- リモート・サイトで作成された EFI Remote Container (RPF ファイル) からのカ ラーの正確さを維持したコピーの出力

コントロール・ストリップの	リファレンスのターゲット・カラー			
タイプ	リファレンス・ プロファイル	SWOP/GRACoL	Fogra キャラクタ リゼーション・ データ	
EFI Color Verifier $\mathcal{F} \mathcal{V} - \mathcal{F}$	Yes	No	No	
IDEAlliance ISO 12647-7	Yes	Yes	No	
Ugra Fogra メディア・ウェッジ	Yes	No	Yes	

次の表は、各種リファレンスに最適なコントロール・ストリップを示します。

キャラクタリゼーション・データ

この設定では、リファレンス(出力のターゲット・カラー)を定義します。次の 設定を使用できます。

• 参照プロファイルから生成

この設定を使用して、リファレンス・プロファイルで得られるカラーに対す るカラー出力を測定します。選択したリファレンス・プロファイルに適切な Fogra キャラクタリゼーション・データを選択します。次の表では、どのリ ファレンス・プロファイルに対してどのキャラクタリゼーション・データを 使用すべきかを示しています。

リファレンス・プロファイル	Fogra キャラクタリゼーション・データ
ISOcoated.icc	Fogra 27
ISOwebcoated.icc	Fogra 28
ISOuncoated.icc	Fogra 29

EFI eXpress 4.5 の補足ガイド

リファレンス・プロファイル	Fogra キャラクタリゼーション・データ
ISOuncoatedyellowish.icc	Fogra 30
ISOcofcoated.icc	Fogra 31
ISOcofuncoated.icc	Fogra 32
ISOcoated_v2_eci.icc/ ISOcoated_v2_300_eci.icc	Fogra 39
SC_paper_eci.icc	Fogra 40
PSO_MFC_paper_eci.icc	Fogra 41
PSO_SNP_paper_eci.icc	Fogra 42
PSO_Coated_NPscreen_ ISO12647_eci.icc	Fogra 43
PSO_Uncoated_NPscreen_ ISO12647_eci.icc	Fogra 44
PSO_LWC_Improved_eci.icc	Fogra 45
PSO_LWC_Standard_eci.icc	Fogra 46
PSO_Uncoated_ISO12647_ eci.icc	Fogra 47
PSR_LWC_PLUS_V2_PT.icc	PSR_LWC_PLUS_V2
PSR_LWC_STD_V2_PT.icc	PSR_LWC_STD_V2
PSRgravureMF.icc	PSRgravureMF
PSR_SC_STD_V2_PT.icc	PSR_SC_STD_V2
ISOnewspaper26v4.icc	IFRA26
PaC.Space_CMYK_gravure_ V1a.icc	PaC.Space
GRACoL_2006_Coated1v2.icc	GRACoLCoated1_ISO12647-7_
	ControlStrip2009_Ref
SWOP2006_Coated3v2.icc	SWOPCoated3_ISO12647-7_ControlStrip2009_Ref
SWOP2006_Coated5v2.icc	SWOPCoated5_ISO12647-7_ControlStrip2009_Ref

このリストは、ソフトウェアとともに定期的に更新されます。最新情報については、EFI\EFI eXpress\Modules\IT8_CharacterizationData にある readme ファイル を参照してください。

• Fogra キャラクタリゼーション・データ

Ugra/Fogra メディア・ウェッジでは、Fogra キャラクタリゼーション・データ のセットを選択して、標準印刷環境を定義できます。詳細については、Fogra の Web サイトを参照してください。 また、EFI XF で作成され、EFI Remote Container (RPF ファイル)として保存され たジョブのカラー出力を検証することもできます。RPF ジョブをロードすると、 EFI XF の最初の検証測定値が Color Verifier ウィザードのカラー比較のベースとし て使用されます。プロパティ・インスペクタのキャラクタリゼーション・データ 設定には、「測定ファイルを開く」が表示されます。Remote Container に測定ファ イルがない場合、代わりにリファレンス・ファイルが自動的に使用されます。



RPF ジョブが EFI XF のダイナミック・ウェッジで作成された場合、一般的なメ ディア・ウェッジが EFI eXpress のプレビューに表示されます。ただし、ダイナ ミック・ウェッジからの実際のカラーは Color Verifier ウィザードに送信されて測 定されます。

プリセット

キャラクタリゼーション・データの種類を選択した後に、「合格」の結果を規定 する許容範囲の量を指定する必要があります。許容範囲は、リファレンスからの 偏差量に相当します。

さまざまな印刷条件(プリンタ、インク、メディアなど)があり、2つの異なる 出力デバイスで100%同一の印刷結果を得ることは一般的には不可能であるた め、ある程度の偏差量はほぼ避けられません。

既定のターゲット許容範囲のセット、またはユーザ定義のターゲット許容範囲を 選択することができます。 定義されたプリセット

標準仕様の定義されたプリセットを使用できます。それらの値は、通常のプ ルーフの作成 (ISO 12647-7 または 12647-8 に準拠したメディア・ウェッジに基 づく検証)に適用できます。または、FograCert のような認証の目的で適用で きます。

定義されたプリセット	用途:
ISO 12647-7 Contract Proof "Media Wedge"	ISO 12647-7 (contract proofing)
ISO 12647-8 Validation Print "Media Wedge" NWIP	ISO 12647-8 (FograCert validation printing) 「ISO 12647-8 Validation Print "Media Wedge"
ISO 12647-8 Validation Print "Media Wedge" CD2	NWIP」プリセットは、Fogra が Cert Validation Print Certification に使用していた 許容制限値を適用します。
	この標準は、ISO 12647-8 Validation Print "Media Wedge" CD2 に置き換えられまし た。この許容制限値はプレスの段階で使用 されており、ISO 12647-8 のリリース・ バージョン用に定義される許容制限値と なる見込みです。
G7 Contract Proof "Media Wedge"	G7 仕様に準拠したプルーフの検証ジョブ



デルタ T 許容制限値は、100% シアン、または 50% マゼンタなど 1 次色のみ で測定することができます。CMYK が混ざったカラーのデルタ T 許容制限値 を計算することはできません。 • カスタム

独自の許容制限値を定義し、それをカスタム・プリセットとして保存することができます。「許容範囲」列に表示される値は編集できます。カスタム・プリセットを使用することによって、最新の既定値やユーザーの各サイトでの 指定値を簡単に保存しておくことができます。

また、それぞれの許容値に「規定」または「参考」特性を割り当てることが できます。設定を変更するには、「使用方法」列の適切なセルをクリックして、 ドロップダウン・メニューを開きます。この設定はジョブの検証結果に影響を 与えます。

規定	規定値が評価されます。測定値のいずれかが指定された許容範囲を超えている場合は、Color Verifier 測定結果が適切でなく、ジョブの検証が不合格になることを知らせるメッセージが表示されます。
参考	参考値が評価されます。参考値は参照用のみで、ジョブが 検証に合格するか不合格になるかには影響を及ぼしません。 ジョブ検証には規定値のみが考慮されます。すなわち、参 考値が定義された許容範囲外にある場合でも、ジョブの評 価を行うことができます。
オフ	このオプションを選択すると、許容制限値は評価されず検 証結果にも含まれません。

必要許容制限値を定義し、「保存」をクリックして一意の名前を付けます。

色精度の検証

検証ワークフローを作成したら、EFI eXpress でロードするジョブの色精度を検証 できます。



プリンタに組み込まれた測定デバイスを使用している場合、カラー・パッチはプ リンタで自動的に測定されます。以下の手順を実行する必要はありません。測定 後に、結果は「検証済み」または「検証に失敗」というステータスとともに EFI eXpress に自動的に返送されます。詳細については、18 頁の「結果の分析」を 参照してください。

補助測定デバイスによりジョブのカラーの一貫性を検証するには

1 ジョブを印刷します。

印刷後に、ジョブ・ステータスは「検証可能」に変わります。

 ジョブ・リスト内でジョブを強調表示します。プロパティ・インスペクタで、「コント ロール・ストリップ」ペインを開き、「検証」ボタンをクリックします。

Color Verifier ウィザードが開始されます。

Color Verifier ウィザード: 最初の画面

Color Verifier ウィザード:

タイル・モード

EFI Color Verifierウィザード × << 測定カラーストリップ 1 結果 >> CMYK_Tiff_de.tif 印刷日: 2011/08/23 11:57:16 キャラクタリゼーション・データ:参照プロファイルから生成 パッチ番号: 72 プリンタ名: HP DesignJet 90 Series 参照プロファイル: ISOcoated_v2_eci.icc Ugra Fogra-MediaWedge V3.0a (ES 1000_Eye-One).tif • 🖌 o 🗖 1 2 3 測定デバイスの接続および測定開始 測定 キャンセル

次の2つの表示モードがあります。「並べて表示」と「重ねて表示」です。表示 モードを変更するには、適切なラジオ・ボタンを選択します。

Ugra	a Fogra-MediaWedge ¥3.0a (E5 1000_Eye-One).tif	0	•
1			
2			
3			

3 測定デバイスが正しく接続されていることを確認します。

4 「測定」をクリックし、画面の指示に従って出力結果のコントロール・ストリップを測定 します。

Color Verifier ウィザード: 測定されたパッチを含む最初 の画面

I Lolor Verifierウイザード		
<<	測定カラーストリップ 1	結果 _ >>
4	CMYK_Tiff_de.tif 印刷日: 2011/08/23 11:57:16 キャラクタリゼーション・データ: 参照フロファイルから生成 パッチ番号: 72 プリンタ名: HP DesignJet 90 Series 参照ブロファイル: ISOcoated_v2_ed.icc	
Ugra Fogra-MediaWedge	V3.0a (ES 1000_Eye-One).tif	• 🖌 • 🗖
1		
測定終了。		
		キャンセル

5 2 つのコントロール・ストリップを印刷した場合、ウィンドウの右上にある「測定スト リップ 2」ボタンをクリックして、引き続き 2 つ目のコントロール・ストリップを測定し ます。そうでなければ、次の手順に進みます。 6 ウィンドウの右上にある >> をクリックして結果を表示します。

Color Verifier ウィザード: 結果画面

EFI Color Verifierウィザード			×
測定ストリップ 1		結果	完了 >>
44	CMYK_Tiff_de.tif 印刷日: 2011/08/23 11:57:16 プリンタ名: HP DesignJet 90 Series		不合格
サマリー コントロールストリップ 1: Ugra Fogra-MediaWedge V3.0	a (ES 1000_Eye-One).tif	不合格	印刷 ラベル レポート
			詳細結果
			キャンセル

結果が「合格」であれば、測定したコントロール・ストリップのカラーが定義されている許容範囲内であったことになります。「不合格」であれば、一部が定義 されている許容範囲を超えていたことになります。

「詳細結果」をクリックすると、より詳細な結果を表示できます。詳細表示では、 定義されている許容範囲と測定結果を比較します。

承認者: admin 基準データ: ISOcoated_v2_e 参照プロファイル: ISOcoated	eci.icc _v2_eci.icc	ブロファイ システム 測定デバ	ルの試験:HPD の試験:EFI eXp イス:EFI ES-10) 390_600x600_ press) 00	EFI3170SM.icc	/- 测定条件: -
プリンタ: HP Designlet 90 Seri 基準 すべてのパッチの平均 すべてのパッチの最大 用紙の白色部分 シアン マゼンタ イロー ブラック	ies 別定値 19.55 90.64 7.97 27.83 18.77 26.44 5.15	日付/時 許容範囲 dE 3.00 dE 6.00 dE 3.00 dE 5.00 dE 5.00 dE 5.00 dE 5.00 dE 5.00	刻: 2011/08/25 ステータス 不合格 不合格 不合格 不合格 不合格 不合格 不合格 不合格	13:47:14 不合格 ジョブID - 1	18	- 基礎となる期度: - 印刷巻: - - - - - - - - - - - - - - - - - - -
ロMIKの色相差 グレイの色相差 プロパティのロード プロパ:	11.79 2.90 ティのセーブ	dH 2.50 dH 1.50	不合格不合格	OK(0)	キャンセル	参照プロファイル: ISOcoated y2_ed.cc プリンダブロファイル。 IPO 1930_600x600_EF131705M.kcc プリンダ: IPO Bearulat 90 Series
		1				、基準データ: ISOcoated_v2_ed.kc 補強用基材: FFI Budget Proof Paper 3170 Seminatt 着色剤: レーアッド
						最後の校正:

適切なボタンをクリックすると、結果のラベルやレポートを印刷できます。

ラベルで「承認者」を編集して、出力結果の色精度を承認したユーザの名前を挿 入できます。

- 7 ウィンドウの右上にある「終了 >>」をクリックします。
- 8 結果を保存するかどうか入力を求められたら、それを確定します。

ジョブは「検証済み」または「検証に失敗」というステータスとともに EFI eXpress に返送されます。



Color Verifier ウィザード:

結果画面 1 ラベル 2 レポート

> 結果を保存しない場合、EFI eXpress に送信されず、ジョブ・リストに表示される ジョブ・ステータスは「検証可能」のままになります。

結果の分析

結果が EFI eXpress に返送されると、ジョブ・ステータスは「検証済み」または 「検証失敗」に変わり、実行結果が「検証」タブに表示されます。



ジョブのステータスが「検証失敗」の場合は、ジョブによっては最適化を行うこ とによって許容範囲にすることができます。最適化を行うには、「コントロール・ ストリップ」ペインで「最適化」をクリックします。すると、リファレンス・プ ロファイルのカラー・ガモットに最適な補正プロファイルを作成することで、 ジョブのカラー・マネージメントが最適化されます。その後で、ジョブを再印刷 して検証手順を繰り返す必要があります。

ー度に1つのコントロール・ストリップのみを最適化できます。ジョブに2つの コントロール・ストリップが含まれており、両方とも最適化する場合は、2つ目 のコントロール・ストリップの「最適化」ボタンを再度アクティブにするため に、印刷と検証の手順を繰り返す必要があります。



CMYK カラー・スペースのジョブのみを最適化できます。ただし、以下の設定の いずれかが適用されている場合、最適化することはできません。

- 知覚または彩度レンダリング・インテント設定
- カラー調整



ジョブの拡大縮小

「ページ・レイアウト」ペインの拡大縮小設定において、以下の機能拡張が行われました。

- 拡大縮小設定は、2つのドロップダウン・メニューに別れて配置され、よりわかりやすくなりました。最初のメニューには、拡大縮小の種類が含まれます。
 2つ目には、選択した拡大縮小の種類に関連するプリセット(デフォルトおよびカスタム)が含まれます。パーセンテージおよび数値での拡大縮小のプリセットのみを使用できます。
- 「パーセンテージで拡大 / 縮小する」および「数値で拡大 / 縮小する」設定は、 縦横比を変えて行うことができるようになりました。
 - プロポーショナル・スケールの場合:チェーン・ボタンが選択されている ことを確認します。イメージの幅または長さを指定できます。他方の値は 自動的に変更されます。
 - プロポーショナル・スケールでない場合:チェーン・ボタンが選択解除されていることを確認します。イメージの幅と長さの両方を指定できます。

環境設定の各設定の適用

この製品の最新バージョンでは、新たにさまざまな環境設定の各設定のセットを 容易に素早く選択できるようになりました。環境設定のセットが EPF ファイルと して保存されていれば、ツールバーのドロップダウン・メニューからそれを選択 できます。



EPF ファイルを選択すると、これは以降にロードするすべてのジョブの新しいデフォルトになります。

デフォルトでは、EPF ファイルは「環境設定」フォルダに保存されます。ドロッ プダウン・メニューの横にある右矢印 (>) ボタンをクリックすると、「環境設定」 フォルダが開き、ここでファイルを削除したり、ファイルの名前を変更したりす ることができます。

環境設定の選択

カラー・マネージメント

「全範囲」設定は、「ダイナミック・レンダリング・インテント」に置き換えられ ました。これは、次の場所で選択できます。

- 設定ウィザード / アシスタントの「カラー・マネージメント」ダイアログ
- プロパティ・インスペクタの「カラー」ペイン
- •「環境設定」ダイアログの「カラー」ペイン

「マネージメント」ペイン

	<u>ц</u>	0		<u>~</u>
一般 レイ	アウト	カラー	プリンタ	検証
マネージメント スポット・カ	1ラー 色調	膣 グラデー	_ີ ション]	
カラー・マネージメント・	プリセット			
プリセット: 校正				▼ + -
Dynamic Rendering	;Intent 🔫			
ソースプロファイル				
CMYK RGB グレー	スケール「マ	ルチカラー		
プロファイル:	ISOcoate	ed_v2_eci.ic	c	•
レンダリング・インテント	: 知覚			~
	,			
□ 埋め込みプロファイルを	を使用			
シミュレーションプロファ	イル			
シミュレーションプロファイル	になし			-
レンダリング・インテント:	知覚			V
□ PDF 出力インテントを	使用 (使用)	可能な場合)	
メディア入力オプション				
黒色のインクのみを使用	オフ			•
RGB オブジェクトを印刷:	カラー			•
作業カラー・スペース:	CMYK			•
メディア出力オプション				
L*a*b* 最適化:	なし			• >
□ グレースケールに変換	0 -			
	ウォーム・・	グレー	ニュートラル	クール・グレー

この設定を用いて、EFI eXpress はジョブのカラーを分析し、選択された出カデバ イスで正確にカラーが再現されるかどうかを判断します。この分析に基づいて、 最も正確なレンダリング・インテントが自動的に選択されます。

ジョブのカラー分析	レンダリング・ インテント	説明
すべてのカラーが出力 デバイスの再現可能な ガモットの範囲内	相対カラー・ メトリック	このレンダリング・インテントは、 ジョブのカラーを正確に再現し、 ガモットの圧縮は不必要です。
特定のカラーが出力デ バイスの再現可能なガ モットの範囲外	知覚	JPEG, TIFF, PSD: 選択されたソース プロファイルが使用されます。

シミュレーション・プロファイルは、ソース・プロファイルより優先されます。 シミュレーション・プロファイルがジョブに割り当てられている場合、そのシ ミュレーション・プロファイルのレンダリング・インテントのみがこの設定に よって影響を受けます。利用できるシミュレーション・プロファイルがない場合 は、ソース・プロファイルのレンダリング・インテントが選択されます。

ダイナミック・レンダリング・インテント設定がプロパティ・インスペクタで適 用された場合、「保存」をクリックすると、最適なレンダリング・インテントが 選択されます。



ワークフローでジョブのプレビュー設定が有効になっているかどうかにかかわら ず、ジョブのプレビューが常に作成されます。

PANTONE のサポート

PANTONE PLUS® スポット・カラー・ライブラリ

EFI eXpress for Proofing では、標準の内部 PANTONE スポット・カラー・テーブル の使用から PANTONE PLUS[®](最新のメタリック、パステル、ネオン・カラーを 含む新しいスポット・カラー・ライブラリ)に切り替えることができます。その ように選択すると、PANTONE PLUS カラー・ライブラリは、EFI eXpress のすべ ての PANTONE スポット・カラー定義に適用されます。

この設定は、「環境設定」ダイアログの「アプリケーション」ペインにあります。 このチェック・ボックスを選択すると、新しい一連の PANTONE PLUS のカラー を使用して作成された印刷ジョブを出力します。新しいスポット・カラー・ライ ブラリを有効にするには、EFI eXpress を再起動する必要があります。

```
「アプリケーション」ペイン
```

- 米・児 言尺 ム	-					
		Lą.	0	6		
	一般	レイアウト	カラー	プリンタ	検証	
アプリク	アーション		検出 速度	TIFFエクスポート		
地域	と単位の	設定				
言語	:	日本語	•			
単位	:	mm	•			
製品	の選択					
色の分	F-7:	ライトグレー		•		
作業	フォルダ					
パス:						
C:¥F	ProgramD	ata¥EFI¥EFI eXpre:	ss¥Work		選択	
ライヤ	ッンス・ファ	† ルダ				
パス:						
C:¥F	ProgramD	ata¥EFI¥EFI eXpre:	ss¥Licensing		選択	
Ŧ=5	のプロフ	ァイル				
• -	般的なR	GBプロファイル				
ー・シ	ステム・モ	ニタ・プロファイル (19	09W.icm)			
の力	スタム・プロ	コファイル:				
					選択	1
701	þ.					
		PLUS ライブラリの使	'я 🗲			
マ オプ	ションの表	眎			_	
リセッ	/h	保存	ם-א"	OK	キャンセル	

PANTONE FASHION + HOME スポット・カラー・ライブラリ

EFI eXpress 4.5 では、PANTONE の FASHION + HOME パレットをサポートして います。新しいカラーは、EFI eXpress の標準的な内部 PANTONE スポット・カ ラー・ライブラリに含まれます。

スポット・カラーを使用したカラー印刷媒体への出力のシミュレー ション

プリンタがクリアや白色などの追加インクをサポートしている場合、インク・ ソースとして「PRINTER」を選択できます。「PRINTER」を選択することによ り、ジョブの処理にはカラー・マネージメントでの設定はバイパスされ、プリン タのインクが使用されます。この EFI eXpress の最新バージョンでは、この機能が 拡張され、プリンタのインクを「反転」設定にマップできるようになりました。

```
「スポット・カラー」ペイン
```

環境談	定					×
		1	0		2	
	一般	レイアウト	カラー	プリンタ	検証	
コネー		ポット・カラー 缶調響	<u>客 </u> ガラデ、	>>=>		<u> </u>
伯子	分解	TCBA		2421		
In-F	マロロ ヤパレーシ	ンョン 有効				ㅋ
□:	コンポジットジ	ョブでのオーバープリン	小をシミュし	ノートする		-
不明	月なスポットナ	ラー				
	不明なスポット	カラーを警告色で置	き換え			
	C:	M: Y: K	() 			
	lo lo		70	יוערואל ל		
スポ	ペット・カラー・	プリセット			1 1	-
プリ	セット: なし				+ _ >	_
スポ	ペット カラーの	定義				~
	名前	ソース			7 5 11 4	
	Inverted	PRINTER		PRINTER SPOT 1	INK_INV	
				PRINTER_SPOT_2	INK_INV	
				PRINTER_SPOT_3	NK_NV	
				PRINTER_SPOT_4	INK_INV	
						_
						-
	ポンシンの表示	.				
917	フラヨンのRej アット・・・	、 保存 (ם-א"	ОК	キャン	1211
	_					

「反転」プリンタ・インクは、その名前 (Inverted) から「INV」という文字で認識 できます。反転設定を選択した場合、反転した割合の量のインクが適用されます。 つまり、100% インクには 0% カラー、0% インクには 100% カラー、30% インク には 70% カラーが適用されます。このように、スポット・カラーを使用して、 白色またはカラー印刷媒体で最終プロダクション工程をシミュレートすることが できます。

この設定は、金色または銀色のメタリック・カラーが多く使用される包装産業で 有用です。ただし、一部の特殊効果は、プリンタが適切なインクのカラーをサ ポートしている場合のみに正しく実行できます。

RGB Profile Connector

RGB Profile Connector を使用すると、プリンタ・メーカーや用紙メーカーから提供される RGB メディア・プロファイルを EFI eXpress で使用できるようになります。EFI eXpress ではデフォルトで RGB Profile Connector がインストールされます。

EFI EXPRESS で使用するためのカスタム RGB メディア・プロファイルを作成するには

1 次のいずれかを行います。

• 「プリンタ」タブで、「メディア・セット」ペインを開き、「RGB メディア・プロファイルの追加」をクリックします。

「メディア・セット」ペイン

設定					×	
	4	0				
一般	レイアウト	カラー	プリンタ	検証		
(イス)接続 『	印刷メディアセット	印刷メディアサ	ーーーーー ー イズ 1オプション	1		
1817572-80	77246	1-1-0412-02-17-22	10100040	1	1	
・ハリスティアテロ ンクの種類:	27170					
IP DYE					•	
ディア名:						
FI Budget Proc	of Paper 3170 Se	emimatt				
刷品質:						
MYKcm, 600 >	: 600, Super			_	>	
¥600x600 dpi	¥HPDJ90_600×60	0_EFI3170SM.	epl			
			RGB メディア・	プロファイルの追ば	迦 🧹	
ロコッイルの探知	古					
ロファイアの350 行しいメディア名:	96					
ロファイル・パス:						
				選択		
新ロハメディアを	タロコップルに接结	1				
初 0.5 ルナイアゼ	ノロノアイルルに支配に					
オプションの表示						
ルセット・・・	保存	DK	OK	キャンセ	216	

•「アクション」メニューから「EFI RGB Profile Connector」を選択します。

「EFI RGB Profile Connector」ダイアログが開きます。



🚟 EFI RGB Profile Co	onnector	
プリンタ名:	プリンタ・タイプを選択	•
インクの種類:	選択	7
印刷メディアタイプ	選択	7
メディア名:		
17/4	Daata	
解像度:	選択	~
印刷モード:	選択	7
印刷方向:	選択	7
		1
ICC ブロファイル:		
	インストール	閉じる

- プリンタ名」ドロップダウン・リストから RGB プリンタモデルを選択し、「インクの種類」から使用するインクを選択します。
- 3 「印刷メディア・タイプ」から、使用する RGB メディア・プロファイルに最も適した印刷 メディアを選択します。

通常、印刷メディア・タイプ情報は、用紙メーカーからプロファイルとは別ファ イルで提供されます。

4 印刷メディアに名前を付けます。

デフォルトでは、メディア名はメディア・タイプと同じものが付けられていま す。その名前をそのまま使用してもかまいませんし、新しい名前をつけることも できます。ここで指定した名前は、後に EFI eXpress で使用可能なメディア・プ ロファイルとして選択可能になります。

5 「解像度」、「印刷モード」、「印刷方向」ドロップダウン・リストから、RGB メディア・プロファイルに適したものを選択します。

これらの情報は、用紙プロファイルと一緒に提供されているものを使用するか、 または Web サイトから入手します。

- 6 「選択」をクリックしてカスタム RGB メディア・プロファイルを検索し、選択してくだ さい。
- 7「インストール」をクリックします。

新しい RGB メディア・プロファイルが「EFI Media Profiles¥Profiles」フォルダにコ ピーされます。EFI eXpress に適用するには、「印刷」タブ >「メディア・セット」 ペインに移動し、定義したメディア名をドロップダウン・メニューから選択し ます。

印刷コマンド

EFI eXpress 4.5 では、次の 2 つの新しい設定を使用して、印刷するページ範囲と コピー枚数を定義できます。

- •「ファイル」メニューで、「印刷設定」を選択します。
- ジョブ・リストで当該のジョブを右クリックし、内容メニューから「印刷設定」を選択します。

仮想プリンタとしての EFI eXpress の設定

このセクションでは、次の構成で TCP/IP または SMB 印刷に必要な追加設定について説明します。

EFI eXpress がインストールされている OS: Mac OS X 10.5 以降

グラフィック・アプリケーションがインス	Windows XP または Windows 7
トールされている OS:	

この構成では、2 つのコンピュータが異なるサブネットに配置されていると問題 が発生する場合があります。グラフィック・アプリケーションで仮想プリンタを 選択することはできますが、EFI eXpress でジョブはロードされません。

この問題を解決するには、CUPS バージョン 1.4.4 以降で設定を行う必要があり ます。OS X 10.6.4 以降が稼働するすべての Macintosh コンピュータでは、デフォ ルトでバージョン 1.4.4 がインストールされます。

古いバージョンの CUPS では、この問題を解決できないので注意してください。

ネットワークサブネットを横断して印刷するには

 Macintosh コンピュータで Web ブラウザを起動して、アドレスに 「http://localhost:631/admin」と入力します。

「管理」タブに「Common UNIX Printing System」ウィンドウが開きます。

2 「サーバ設定」の下で、チェック・ボックス「インターネットからの印刷を許可する」を 選択します。

		C Google			
テレック 第一 本一ム 管理	クラス ヘル	ブ ジョブ	プリンター	Q- Search Hel	
プリンター	サー	バー			
 (ブリンターの追加) (新しいブリンターの検索) (ブリンターの管理) 	(設定ファ ページI)	マイルの編集)(アクセスログの コグの表示)	の表示)(エラーログの表	·示	
クラス	サーバ 詳細 ▶	一設定:			
(クラスの追加) (クラスの管理)	✓ ほか	 ☑ ほかのシステムで共有されているブリンターを表示 □ このシステムに接続されているプリンターを共有 ☑ インターネットからの印刷を許可 			
ショブの管理)		ート管理を許可 beros 認証を使用 (FA			
	□ 所有 □ トラ	「者以外のユーザーにも ラブルシューティングの	もジョブのキャン† のためにデバッグ†	≥ルを許可 青報を保存	
	設定の変	更			

3 「設定の変更」ボタンをクリックします。

「CUPS 管理」ペイン